

日刊（*昭和*二九三八号）で概報のとおり、東鉄労千葉地本は、十二月五日付東鉄労千葉地本指示第二九号で「厳戒体制の確立について」なる指示を行った。十二月五日の東中野駅事故発生後、初めて下した東鉄労千葉のこの指示は、事故の犠牲になつた平野君への哀悼の意のカケラすら示すことなく、「動労千葉に追及されるから氣をつけろ」という代物である。鉄道労連は、同じ国鉄労働者が殺されても「哀悼の意」すら示すことなく血も涙もない「組合」なのだ。こんな「組合」は労働組合なんかじゃない。こんな「組合」に所属するものが「労働者」と言えるのか！

体となつて行つてきたことは、「安全問題」など
度外視した合理化強行―労働強化―勤労千葉・国
労破壊である。

このすべてがこの東中野駅事故をひきおこした
のだ。

そして、「上越線貨物脱線・転覆事故」についてはJR当局と一緒にあって労働者に事故の責任を転嫁するうわべだけの「チャレンジャー」フェイ運動に協力する」と声明し、東中野駅事故では「会社は協力する」と声明している鉄道労連で生命が安全に守れるのか！

鉄道労連「組合員」は、一日も早く、こんな「労働組合」と言うのもおぞましい鉄道労連を脱退しよう。

以上

③速度制限を厳守する

12・17労働者集会
日本橋公会堂 15時～
千葉駅7・8番ホーム
13時15分集合

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！